



Design

～地域包括ケア病棟から地域をデザインする～



発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

地域包括ケア病棟広報誌Design号外49号です。老健やましろの新たな取り組みと、当院の新型コロナウイルス感染拡大防止のための取り組みの紹介です。

(地域医療連携室 室長 南出 弦)

老健やましろより

～ ガラス越し面会を始めました ～



写真はイメージです
会を楽しんでいらっしゃいます。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、入所者様の面会制限を始めて2か月以上が経過しました。長引く面会禁止による入所者様、家族様のストレスやご心配を少しでも軽減できるよう、当施設では、5月11日から施設の自動ドアのガラス越しで施設用のPHSを使用して会話をしていただく“ガラス越し面会”を始めました。

入所されてから1度も面会ができていない入所者様もおられ、「ここにいること知っててくれたんか。おおきに。」と話されている方や、ご家族4人で来所され順番にPHSを回しながら複数名で会話を楽しまれる方等、皆様それぞれにガラス越し面会

中には、耳の遠い入所者様に、「きっと母は聞こえないだろうから、こちらから伝えたいことはこれだけです。」と大きな紙に大きな毛筆の字で『元気でネ!』と書かれた紙をガラス越しに見せ、お互いに満面の笑みで手を振っておられる家族様もいらっしゃいました。

家族様からも「百聞は一見にしかず。顔が見られて安心しました。ありがとうございました。」とお礼の言葉をいただき、こちらは大変うれしい気持ちになります。

予約制で時間も限られており、初めての試みで最初是对応が手間取り家族様にご迷惑をおかけすることもありましたが、少しでもスムーズにガラス越し面会を実施していけるよう取り組んでいきたいと思っています。明日も自動ドアのガラスを磨いてお待ちしております。

(老健やましろ 管理部長 三村 裕子)

広報誌ヤマシロタイムズ（令和2年春号）を発行しました

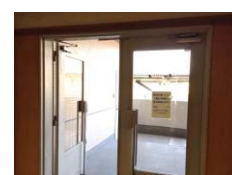
～ 春のオススメレシピも掲載しています ～



新型コロナウイルス感染拡大防止のために

～ 安心して頂くための当院の取り組みの紹介（一部）～

- 正面玄関にて、院内に入られるすべての方に検温を実施しています。
- 外来待合室のソファに、間隔を空けて座って頂く旨の掲示をしています。
- 会計では、間隔を空けて並んでいただくよう患者さんをお願いしています。
- 院内のあらゆる場所を定期的に換気しています。
- 職員は就業前には検温を実施し、また、マスクの着用、手指消毒などを徹底し、体調管理に努めています。
- 原則、入院患者さんへの面会は中止とさせて頂いています（洗濯物の受け渡しのみ、病棟エレベーターホールにてさせて頂いています）。



引き続き、ご理解・ご協力をお願いいたします。

QRコードで Design のバックナンバーをご覧ください



地域医療連携室より

～ お気をつけください ～

欲しいものや必要なものの多くはインターネットで買い物をしています。特に、新型コロナウイルスによる自粛要請以降、その傾向は顕著です。皆さんはいかがでしょう？

欲しいものを閲覧したり購入すると、閲覧したり購入した商品と同じ傾向のものもオススメ（誘惑）してくれ、併せて買ってしまいそうになります。また、購入するとポイントが付加されるので、また同じサイトで購入してしまいます。うまくできているビジネスモデルですね。消費者としてはオススメ（誘惑）に負けることなく、上手に買い物したいところです。

さて、現在、地域包括ケア病棟“彩り”は、地域からの受け入れ（サブアキュート）に力を入れています。気軽に問い合わせして頂き、そして広く利用して頂くため、患者さんにとって入院することのメリット、入院することで生じるデメリットを院内の多職種で十分検討し、できるだけ、敷居は低く、間口を広くして患者さんのご紹介をお待ちしています。引き続きの問い合わせ及び、ご利用をよろしく申し上げます。

*

3月、インターネットでマスクを注文したのですが、届きません。きっと詐欺ですね、だまされました…。皆さんもくれぐれもお気をつけください。（地域医療連携室 室長 南出 弦）